

■ 総則

- 第1条** 中部日本吹奏楽コンクール富山県大会は、富山県学校吹奏楽連盟に加盟する団体（1団体1部門）が参加して実施する。
- 第2条** 実施会場・日時は、富山県学校吹奏楽連盟常任理事会でこれを決める。
- 第3条** 理事会は、その年の中部日本吹奏楽コンクール富山県大会の必要事項を5月末までに決定する。

■ 実施部門および参加人員

- 第4条** 実施部門は次のとおりとし、参加団体は該当する部門に参加するものとする。
- (1) 中学生の部小編成
 - (2) 中学生の部大編成
 - (3) 高等学校の部小編成
 - (4) 高等学校の部大編成
- 第5条** 各部門の参加人員は次のとおりとする。ただし、指揮者はこの人数に含まれない。
- (1) 中学生の部小編成 30名以内
 - (2) 中学生の部大編成 50名以内
 - (3) 高等学校の部小編成 30名以内
 - (4) 高等学校の部大編成 55名以内

■ 資格

第6条

- 1 各部門の参加資格は次のとおりとする。ただし、同一人が二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。なお、年齢については問わない。
 - (1) 中学生の部（中学生の部小編成、中学生の部大編成）

構成メンバーは同一中学校、地域バンド等、合同バンドに在籍している中学生とする。（同一経営の学園内、または同一団体の小学生の参加は認める。）参加形態は第6条1項(1)補足のとおりにする。
 - (2) 高等学校の部（高等学校の部小編成、高等学校の部大編成）

構成メンバーは同一高等学校に在籍している生徒とする。（同一経営の学園内小学生・中学生の参加は認める）。高等学校の統廃合に関わる場合は、第6条1項(2)補足のとおりにする。
- 2 その他、第6条1項(1)補足②③に該当しない団体の参加については、富山県学校吹奏楽連盟でこれを検討し、参加の可否を決定する。

第7条 課題曲・自由曲は同一メンバーが演奏しなければならない。ただし、楽器の持ち替えは認める。

第8条 指揮者（その団体の常任指揮者とする）は課題曲、自由曲とも同一人が指揮をする。指揮者は同一部門の二団体以上を指揮することはできない。

第9条 参加団体の資格に疑義あるときは、出場を停止または入賞を取り消すことがある。

■ 課題曲・自由曲および演奏時間

第10条 課題曲はスコアに指定された編成を尊重する。自由曲の編成は木管楽器・金管楽器・打楽器（擬音楽器を含む）とする。ただし、コントラバス・エレキベース・ピアノ・チェレスタ・ハープの使用は認める。自由曲での歌声については、スキヤット・ハミングは認めるが、歌詞は認めない。

第11条 出場団体は必ず課題曲、自由曲の順に演奏し、審査を受けるものとする。演奏は課題曲、自由曲合わせて12分以内とする。

第12条 演奏時間が超過した場合は失格とする。

第13条 著作権の存在する楽曲を編曲して自由曲とする場合は、事前に著作権者から編曲の許諾を受けねばならない。この許諾を受けずにコンクールに出場することは認めない。著作権について申請に疑義のあるときは、出場を停止または入賞を取り消すことがある。（第13条補足参照）

第14条 出演順は団体代表者により抽選で決める。

第15条 審査員は常任理事会で選出し、これを会長が委嘱する。

第16条 表彰は各部門ごとに、金賞、銀賞、銅賞のいずれかを贈る。

■ 県代表

第17条 中部日本吹奏楽コンクール本大会に本県より推薦する団体数は、中部日本吹奏楽連盟が定めるところによる。

■ その他

第18条 その他コンクール開催上の細目については実行委員会が定める。

第19条 この規定は本連盟の理事会の議決により改定することができる。

中部日本吹奏楽コンクール富山県大会審査規定

富山県学校吹奏楽連盟

第1条 この規定は中部日本吹奏楽コンクール富山県大会実施規定に基づき、審査および判定について定めるものである。

第2条 審査員は課題曲100点、自由曲100点とし、合計200点満点で評価する。

第3条 審査結果の判定は、理事長、副理事長、代表理事、事務局長からなる判定委員会が行う。

第4条 判定委員会は審査員の評価に基づき各部門ごとに金・銀・銅の3段階のグループ分けを行う。

第5条 第4条による結果は審査員の了承を得る。

第6条 審査講評は出演団体に渡す。

第7条 この規定は理事会の議決により改定することができる。

1 第6条1項(1)補足

第6条1項(1)に定める部門の参加形態は以下の通りとする。

- ① 単独校（従来どおりの参加形態）
- ② 地域バンド等
任意の個人または団体が組織し、小学生・中学生で構成された団体。
- ③ 合同バンド
小学校や中学校が、学校長の承認のもと複数校により編成する合同の団体。

注1 小学生と中学生が合同で参加する場合は、中学生部門に参加すること。

注2 **富山県吹奏楽コンクール**に①～③で参加した団体が、**中部日本吹奏楽コンクール富山県大会**に富山県吹奏楽コンクールで参加した①～③と違う参加形態で参加することを認める。

2 第6条1項(2)補足

高等学校の統廃合に関わる場合は、統廃合該当校における合同での出場を認める。合同で出場する場合の団体名は、新しい学校名で出場するものとする。

3 第13条補足

作曲者の死後およそ70年を経っていない大半の作品には著作権が存在する。

編曲の管理は、日本音楽著作権協会ではなく著作権者（作曲者またはその楽譜の出版社）が行っている。使用する自由曲の楽譜がレンタル譜・ライセンス譜、未出版、販売譜のいずれかを確認し、レンタル譜・ライセンス譜、未出版の場合は、演奏許諾書を大会参加申込時に提出しなければならない。

平成	4年	6月10日	実施
平成	6年	5月11日	改定
平成	10年	4月18日	改定
平成	18年	5月20日	改定
平成	21年	5月23日	改定
平成	22年	6月3日	改定
平成	25年	5月30日	改定
平成	27年	5月14日	改定
平成	29年	5月11日	改定
令和	6年	3月26日	改定